



経済同友会講演

アフリカの可能性と課題 ～TICADVに向けて～

国際協力機構

田中 明彦

2013年5月21日

Copyright(C)2013JICA. All rights reserved.

1. 変化するアフリカと アフリカを巡る情勢

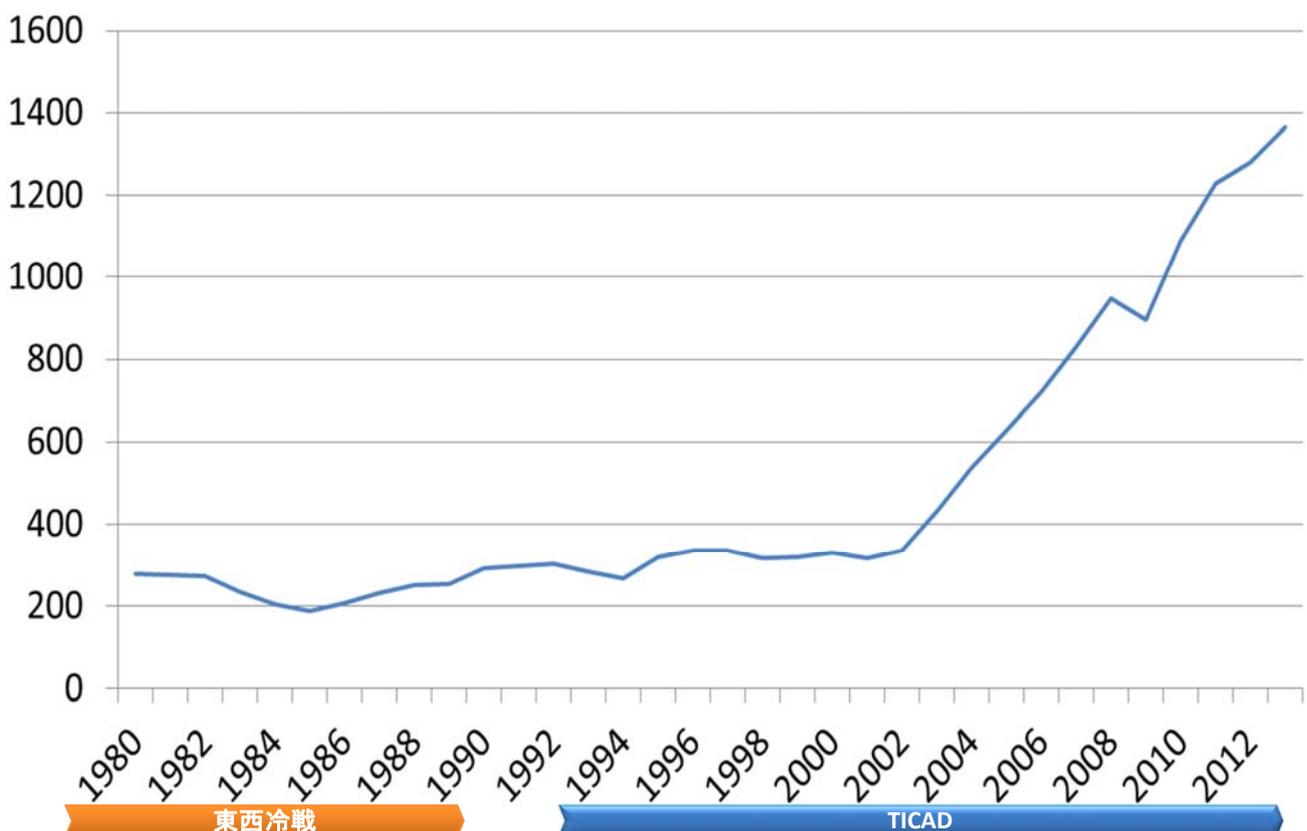
Copyright(C)2013JICA. All rights reserved.

20世紀末のアフリカ

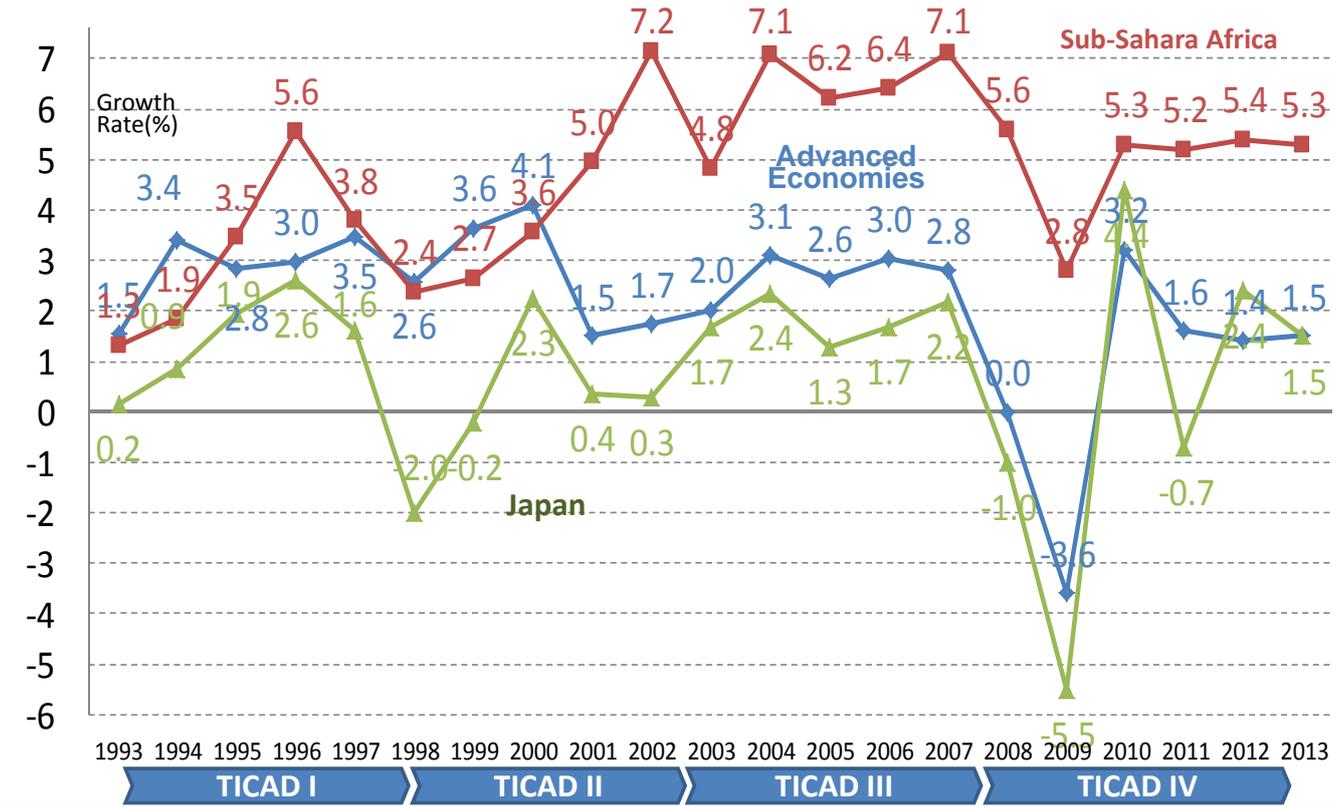
- **80年代:「失われた10年」** (世銀報告書1990)
 - アフリカ諸国が停滞
 - 1人あたりの所得: 1991年アジアがアフリカを逆転

- **冷戦の終結(89年)**
 - 先進国のアフリカ支援のモメンタム低下
 - 多くのアフリカ諸国が複数政党制に移行

アフリカの成長(一人当りGDP)



経済成長率

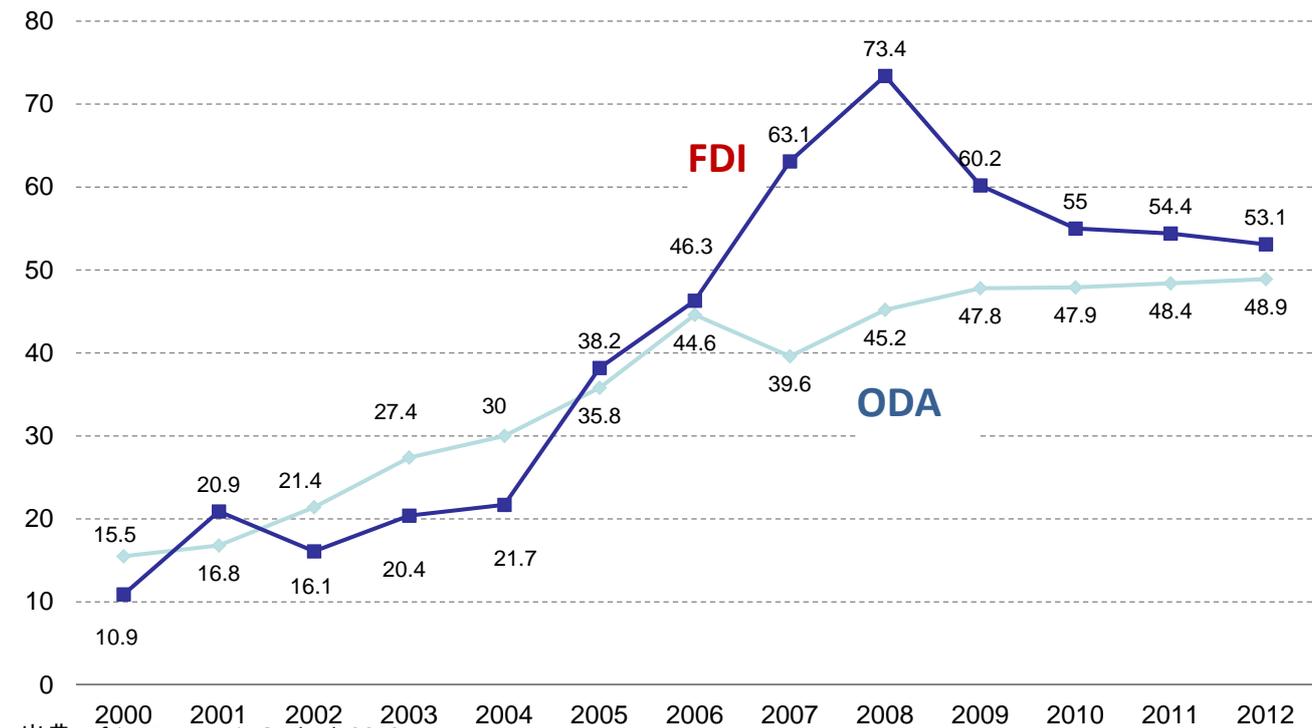


Source) International Monetary Fund, World Economic Outlook Database, October 2012

Copyright(C)2013JICA. All rights reserved.

対アフリカ政府開発援助 (ODA) と 海外直接投資 (FDI)

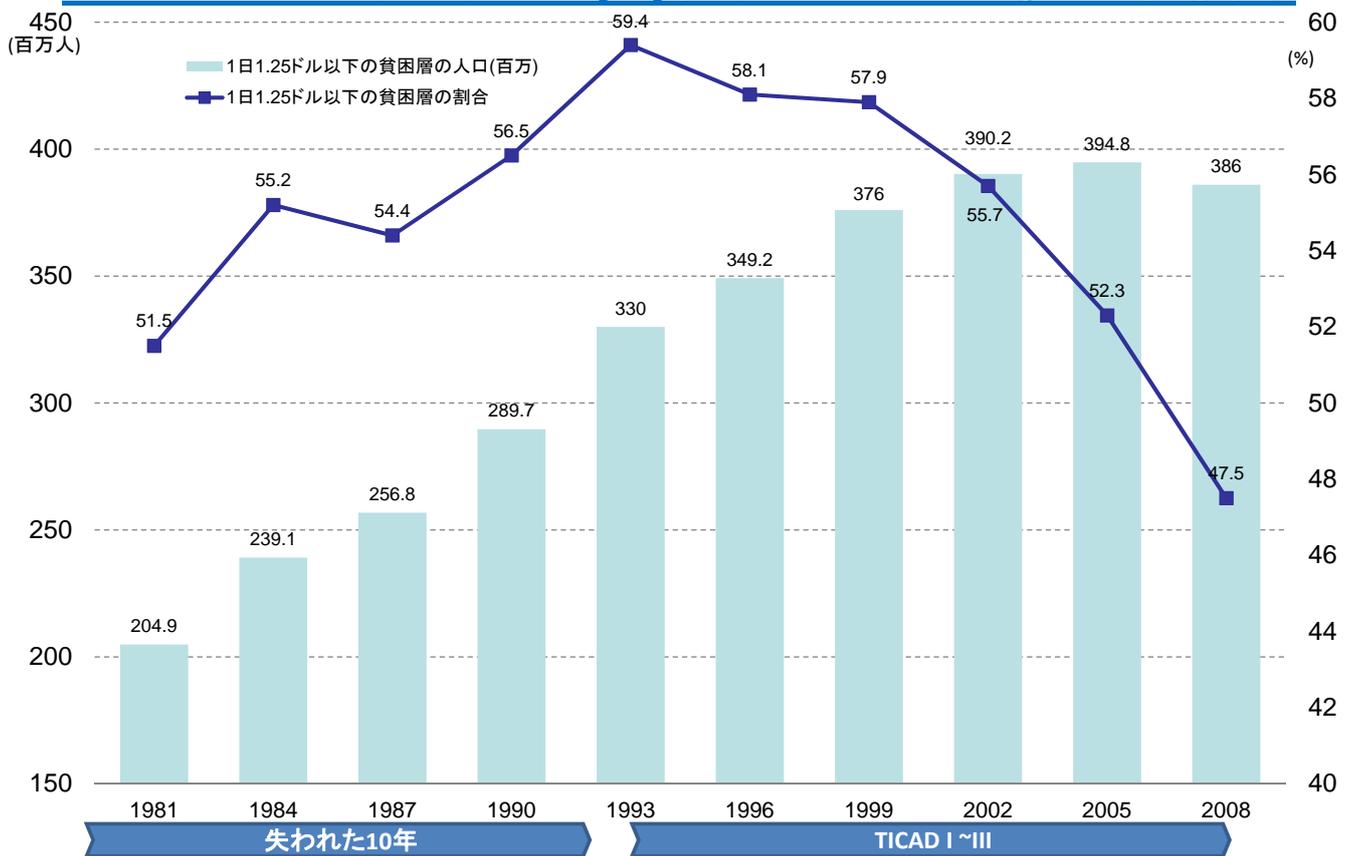
(億米ドル)



出典: Africa Economic Outlook 2012

Copyright(C)2013JICA. All rights reserved.

1.25ドル以下の貧困人口とその割合



Copyright(C)2013JICA. All rights reserved.

出典:World dataBank(Poverty & Equity Databank and PovcalNet)

7

社会指標の変化

● 教育 (初等教育就学率) : 73.6% (1994) → 97.7% (2007)

● 乳幼児死亡率 : 159 (1993) → 115 (2009)
(*5歳未満, 1000人当たり)

● 妊産婦死亡率 : 760 (1990) → 460 (2010)
(*正児出生10万人当たり)

Copyright(C)2013JICA. All rights reserved.

8

2. アフリカの可能性と課題

アフリカの現状

高い経済成長

- 資源価格の高騰＋民間投資の増加
- 政治的安定(紛争解決)

更なるポテンシャル

- 資源発見(石油、天然ガス、レアメタル)
- 農業開発(広大な農地)、消費市場拡大



- **アフリカの政府／人々の自信**

アフリカの将来(各種予想)

- 人口:6.35億人(1990) →20.92億人 (2050)
- 都市人口率:32%(1990) →58%(2050)

- 労働人口(15-64歳): **中国・インドを抜く**
約6億人(2012) →14億人 (2050)

アフリカの将来(各種予想)

「次なる投資先の1位はアフリカ」

～世界の投資家へのアンケートより(EIU)

- ◆10億人を超える人口の41%が15歳未満
- ◆中流階級が3億人
- ◆100万人都市が52都市
- ◆携帯電話普及率は50%
- ◆世界の埋蔵量:原油10%、金40%、クロム・白金の90%

アフリカの成長を阻害する3つの課題

- エネルギー・資源輸出への依存、不十分なインフラ整備状況
- MDGs未達成、質の高い人材・雇用両面の不足
- 政治・社会的不安定

3. 課題への対応 アフリカ開発会議(TICAD) とJICAの取組み

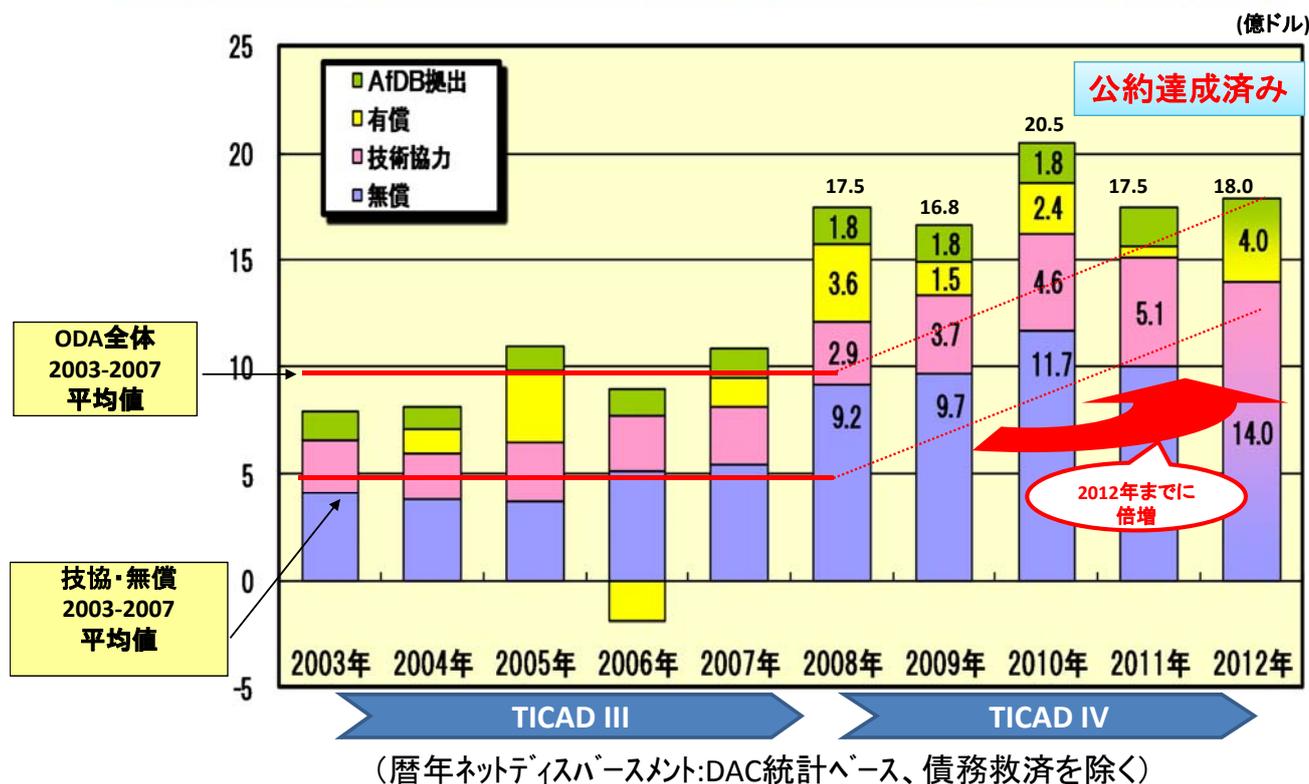
TICAD IVでの取り組み

主要メッセージ

1. 成長の加速化
2. MDGs達成
3. 平和の定着、
4. 環境・気候変動対策
5. パートナーシップの推進

日本政府は、アフリカ向けODAの倍増を表明。

対アフリカODA倍増(北アフリカを含む)



TICAD V 3つの柱

1. 強固で持続可能な経済
2. 包摂的で強靱な社会
3. 平和と安定

強靱で持続可能な経済

- エネルギー・資源輸出に依存した経済構造からの転換
- 長年の農業生産性の停滞、農業投資の不足
- インフラ投資による投資環境整備

包摂的で強靱な社会

- 経済成長に伴う貧困削減の速度は不十分
- MDGsの進捗は見られるも、2015年までの達成は困難
- 人材育成と雇用創出を通じた貧困層や若年層への経済効果波及

保健(母子保健)

セネガル・タンバクンダ州・ケドゥグ州保健システム強化プログラム

目標
母子の健康を改善

(タンバクンダ州において)	2007年(ベース)	→ 2011年(達成指標)
MDG4: 5歳未満児死亡率	200/1000人	→ 120(4割減少)
MDG5: 妊産婦死亡率	800/10万出産	→ 減少
MDG5: 医療従事者介助出産	27%	→ 35%(3割増加)
MDG6: HIV感染率	0.4%	→ 1.0%以下に抑える



タンバクンダ州保健センター
母子保健棟



5S活動の様子



5S研修の様子

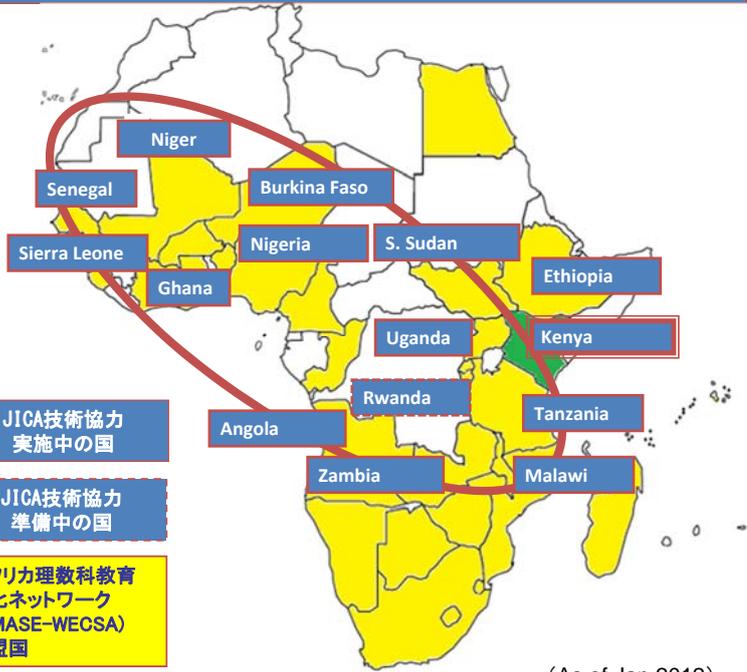


既存の保健センター
(現在新設施設を無償で建設中)

基礎教育の拡充(理数科教育)

質の高い初等・中等教育の普及(Quality Education for All)
理数科教育は産業開発・科学技術進展の基礎

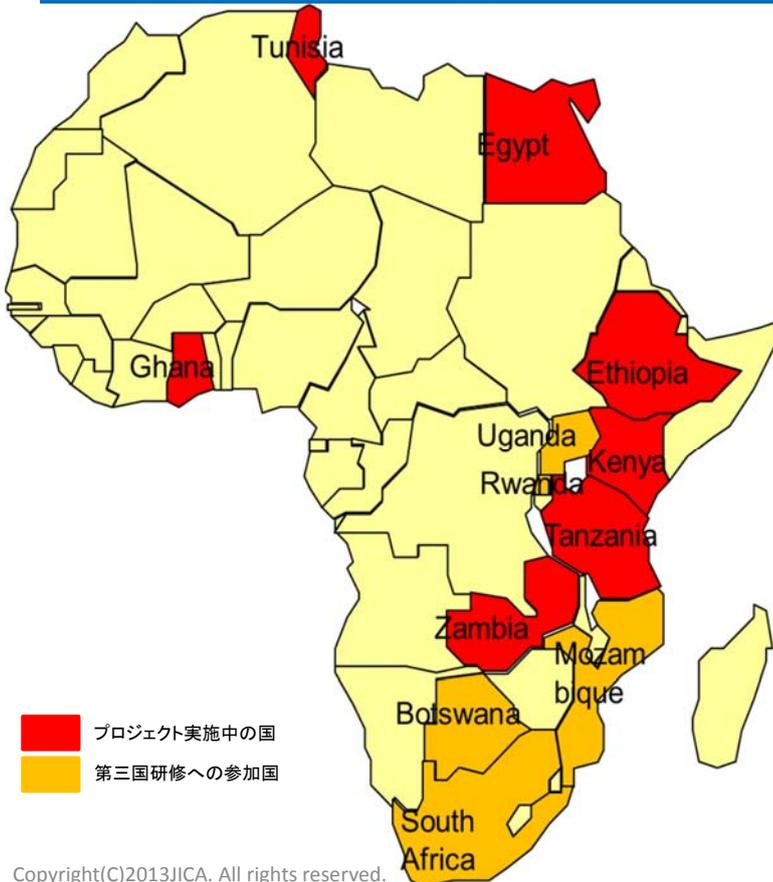
- 現在、ケニアを始めとした**14カ国**で技術協力プロジェクトを実施中。
- 加えて10カ国**に対し、ケニアにおける研修やケニアからの専門家(日本人、ケニア人)派遣による支援を実施。



(As of Jan 2012)

Copyright(C)2013JICA. All rights reserved.

人材育成支援(カイゼンプロジェクト)



Copyright(C)2013JICA. All rights reserved.

本邦企業との連携による人材育成

南ア・ツワネ工科大学における 実践的生産性向上学習プログラム

工科大学での授業に加え、日本企業の協力を得た特別プログラムの実施

- 生産性向上学習キットの導入
- 日本企業でのインターン受入

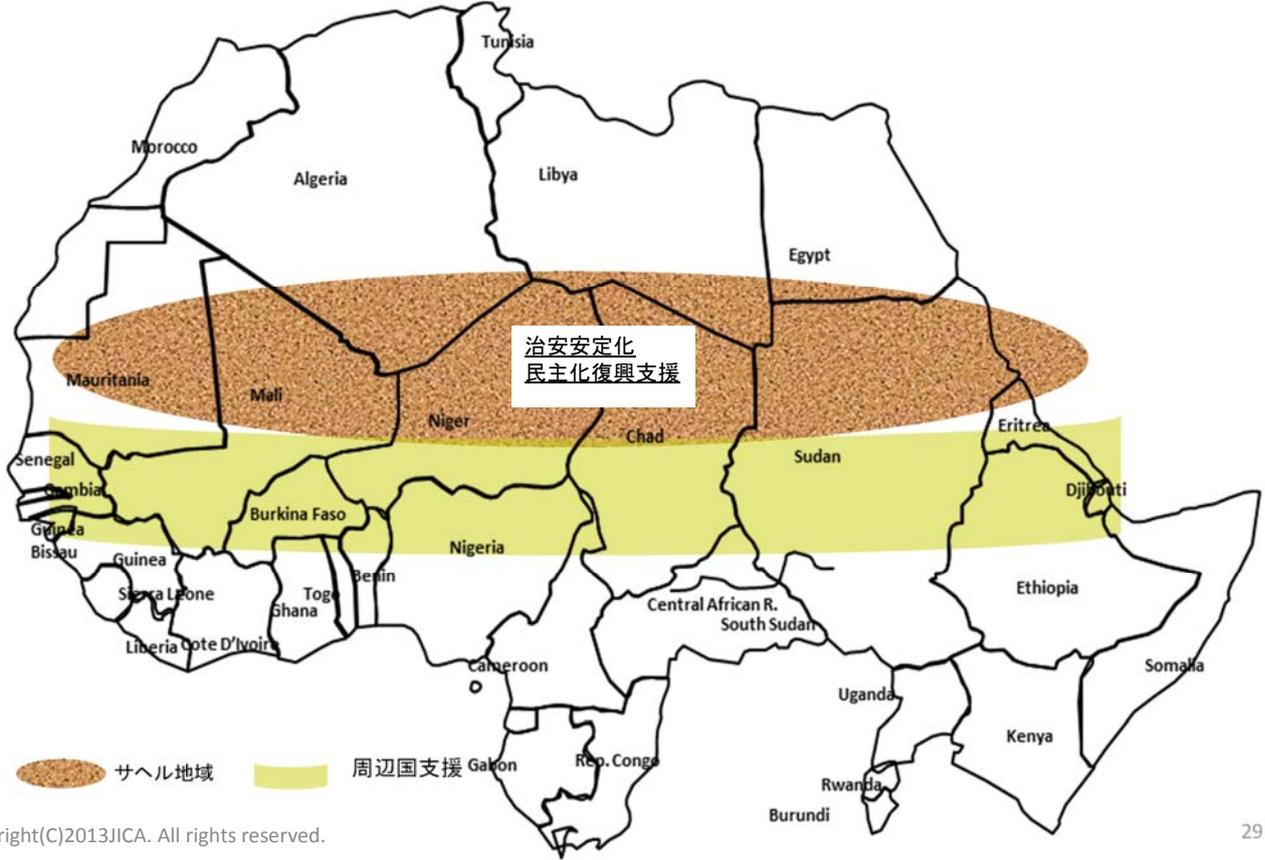


平和と安定

●政治・社会的不安定が経済成長を阻害

●北アフリカ、サヘル地域、ソマリアなど地域の安定確保

平和と安定の確保



南スーダンでの活動



(外務省HPより)



ナイル川の流れ
(コスティ⇄ジュバ間は
河川交通が可能)